



# たからmikke通信



No. 19

発行 授業研究部

## 「道德教育の理論」編・その3

「道德教育の理論」編・第3弾です。今回は「統合的プログラム」と「構成的グループエンカウンター」です。

### ■統合的プログラム

- ・伊藤啓一氏の唱える道德授業の方法。
- ・アメリカの道德教育の潮流を統合した授業理論。
- ・道德的な価値を内面化させ、真の実践力にまで高めるためには、1時間に1価値を網羅的に取り扱ったのでは効果的ではないとする考え。

#### <統合的プログラムの特徴>

①重要な価値項目を精選し、それを単元構成（プログラム化）して、多時間扱いとする。主要価値を5～10の間で精選、それに基づいて単元構成する。

②多様なアプローチ

A型とB型を統合し、互いの限界性を補完しあう。

「A型」：ねらいとする道德的価値を教える（内面化する）ことを目的とする道德授業（インカルケーション的なアプローチ）

「B型」：子供の個性的・主体的な価値表現や価値判断の受容を第一義とする道德授業（ディスカッションなど）

#### <文献>

- 伊藤啓一著『統合的道德教育の創造-現代アメリカの道德教育に学ぶ-』（1991，明治図書）
- 伊藤啓一編著『「生きる力」をつける道德授業-小学校統合的プログラムの実践-』（1996，明治図書）
- 伊藤啓一著『「思いやり」の心をはぐくむ道德授業-小学校における統合的プログラムの展開-』（1998，明治図書）
- 伊藤啓一・長崎県奥浦小学校編著『学校ぐるみで取り組む小学校統合的プログラム』（2000，明治図書）

### ■構成的グループ・エンカウンター

#### <構成法>

グループの機能を活用する体験学習のひとつ。

指導者（リーダー）が事前にねらいと方法を説明し、メンバーが納得した上で始まる。限られた時間内にステップを踏んでエクササイズがなされていく。

- ・インストラクション…ねらい，内容，留意点の説明。参加意欲を高める一方，参加しない自由も尊重する。

- ・エクササイズ…ねらいを達成するために用意された課題や実習。
- ・シェアリング…感じたことや気づいたことなどを分かち合う

#### <構成法の特徴（國分）>

- ① 短時間にリレーションを高められる。
- ② レディネスに応じてレベルや速度を調節できる。
- ③ プログラムの定型化により熟練者でなくても展開できる。
- ④ エクササイズにはインストラクションとシェアリングを伴う。
- ⑤ 多人数のグループにも活用できる。

サイコエデュケーションは「育てるカウンセリング」のひとつの形態である。

#### <非構成法>

指示なし。課題や役割もなく内容や方法は自分たちで決めていく。メンバー中心のグループ体験であるが、無構造に近い。孤島体験など

#### <グループ機能について>

- ① 観察効果…他のメンバーの言動を観察して、問題に気づくことができる。人のふり見てわが振りなおす効果。
- ② 普遍化…自分だけが特別でなく、他人も同じ悩みをもっているとわかる。気持ち楽になったり視野が広がったりする。
- ③ 知性化…自分の問題や悩みを知的に解釈し、分析することを学ぶ。その過程で人間関係などへの洞察が深まる。
- ④ 受容…温かく受け入れる働き。自信と安定感を育て、グループへの所属感を高める。孤立の解消。
- ⑤ 愛他性…メンバー相互の激励・助言・忠告・解釈・示唆などが生じる。受容よりさらに積極的な機能。
- ⑥ 転移…リーダーへの強い愛着や同一化、メンバー同士の感情的結合が生じる。
- ⑦ 現実吟味…生活場面の現実を再検討して、人間関係や対人行動のとりかたを学ぶ。
- ⑧ 通風作用…通常は抑圧されている感情や考えが解放されて、表現される。いわゆるカタルシス。
- ⑨ 相互作用…リーダーとメンバー、メンバー同士でなされる相互作用そのものが、人間関係や集団の雰囲気をよくする効果をもたらす。

システム論 グループが変われば個人も変わる。グループを育てることが重要。

#### <文献>

- 国分康孝監修『エンカウンターで学級が変わる：グループ体験を生かした楽しい学級づくり（小学校編）』（1996，図書文化）
- 国分康孝監修『エンカウンターで学級が変わる Part2（小学校編）』（1997，図書文化）
- 諸富祥彦著『カウンセラーが語るこころの教育の進め方』（1996，教育開発研究所）
- 諸富祥彦・黒岩絹子編著『エンカウンターで道徳（低・中・高学年の全3冊）』（2002，明治図書）←樋爪さんが持っています
- 諸富祥彦・尾高正浩編著『道徳と総合的学習で進める心の教育（高学年）』（2000，明治図書）←尾形がもっています。机の前の本棚